彩活フェス実行委員会

体験ブースでのようす

彩活フェス会場

多久 美友さん（写真左）、横山 麻衣華さん（写真中央）、谷川 由佳さん（写真右）

ここに書ききれないエピソードや写真は当別町ホームページ「現代を活きる＋」でご覧ください。

自分の「好き」を来て、見て、知ってほしい！

3月29日に第11回目を迎える「彩活フェス」の開催に向けて、準備を行っている彩活フェス実行委員会の谷川由佳さん、横山麻衣華さん、多久美友さんにお話を伺いました。

彩活フェスの歴史

クリエイターやインストラクターなど、当別町で色々な活動をしている人たちのことを、もっと多くの方に知ってもらいたいという想いで、令和5年4月29日に第1回目の彩活フェスを開催しました。当初は講座形式で、専門家が参加者にレクチャーする形で実施していましたが、現在は参加者が実際に様々な体験を楽しめるブース出展形式で実施しています。実行委員会として約3年活動を続け、次回の開催で彩活フェスは第11回目を迎えます。

彩活フェスの魅力

彩活フェスに参加することで、新しい学びを得られるところが魅力だと思います。例えば、普段は敷居が高く、なかなか体験する機会が少ないサロンでの本格的なマッサージも、彩活フェスでは気軽に試せるので、これまで触れたことがなかった体験や新しい学びを楽しむきっかけになります。

幅広い年代の方々が、それぞれの楽しみ方を見つけられる点も魅力の一つです。ご家族で来場される方に向けて、親子で一緒に作品づくりを楽しめるワークショップも充実しています。また、夫婦や友人同士でそれぞれが興味を持ったブースを巡っている様子も見られるので、自分の趣味や関心に合わせて気軽に楽しむことができる場であると思います。

開催のモチベーション

開催を通じて、参加者が彩活フェスを楽しむ姿を見ることはもちろんですが、出展者の活動を応援できることもモチベーションに繋がっています。自分の作品を販売したり、体験する場を提供することで、出展者の日頃の活動を広く知ってもらえる機会を作れることが嬉しいです。

また、多くの方に来ていただけるように、SNSやチラシを活用して情報発信を行っています。発信した情報をきっかけに、興味を持ったという声を直接聞くと、彩活フェスがより皆さんに知られていることが実感できて嬉しく感じます。

来て、見て、知ってほしい

今後も、より多くの方に彩活フェスに足を運んでいただき、さらに賑やかで規模の大きなイベントにして、当別町をもっと盛り上げていきたいと考えています。また、開催を続ける中で、私たちがまだ知らない、当別で活動をしている方々とも出会い、仲間として一緒にイベントを盛り上げていきたいです。

彩活フェスは、美容や健康、グルメをはじめ、様々なジャンルの体験を通じて、自分の中にある「好き」を増やし、日々の生活を豊かに彩ることができるイベントです。興味を持った方は、ぜひ彩活フェスに来て、実際に見て、そして自分の「好き」をもっと知っていただけたら嬉しいです。

3月29日の第11回彩活フェスでは、数量限定で「ボックスフラワーアレンジメント」のワークショップを行います。当別町産のチューリップなどを使った春らしい、彩り豊かなボックスフラワーを作りませんか？

彩活フェスの最新の情報をInstagramで公開しています。